

(様式2)新規評価シート		建設部 道路建設課				
事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(国)406号		
事業毎の通番	11	市町村名	須坂市	箇所名(ふりがな)	仁礼(にれ)	
事業目的	国道406号の当区間は、須坂市街と菅平を結ぶ路線である。地区住民にとっての重要な生活道路であり、観光地を結ぶ観光道路にもなっている。 当該箇所は仁礼小学校の通学路となっているが、歩道の中抜け区間となっており、路肩も狭い。さらに、曲線区間のため自動車からの視距も悪く、利用者にとって危険な道路となっている。 そのため、道路の線形を改良し、道路を拡幅することで、安全な交通の確保を図るものである。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法			
関連する事業、計画等	観光圏整備実施計画					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量3,049台/日					
着手年度	平成29年度	事業期間	4年間			
完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	1.2	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=500m、W=6.0(9.75)m		100,000	国庫	90,000	
28年度事業内容(主な工種)	測量・設計一式		7,000	県債	6,300	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	事故・走行時間等の減少 総便益費1.33億円 観光道路の整備、歩行者の安全確保				
	間接的効果(定量的・定性的)	観光支援による地域活性化 地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 : 3,049台/日 ○代替道路の有無 : 代替道路なし ○交通結節点アクセス : バス路線:仙仁線 ○生活支援・観光振興 : 菅平高原に通じる道路	評価			A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : なし ○緊急輸送路の路線指定 : 避難路となる路線 ○地域指定 : 信越観光圏(観光圏整備実施計画地域指定(H24))	評価			C
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.18 ○事業期間 : 4年間(H29~H32) ○工法等の比較検討 : なし ○他事業との連携 : なし	評価			B
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H20:1件、H21:1件、H24:1件(全て車両相互) ○道路環境改善 : 線形改良、歩道設置により安全を向上 ○歩道整備 : 歩道未整備区間に歩道を整備及び通学路対策 ○現況の幅員、半径、勾配 : 現道最小車道幅員5.1m	評価			A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 事業を実施したい旨を、市を通じ地区役員へ周知(H28.11)。 ○地域の取り組み : 協力的である((仁礼区要望(H26.1、H26.9、H28.4)、須坂市要望(H27.7、H28.7))。 ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている(H28.11)。 ○住民との協働 : 今後住民の関与が見込まれる。	評価			C
	部意見	事業の必要性、緊急性が高いため、平成29年度から事業化した。	行政改革課意見	現道は小学校の通学路に指定されているが歩道は未整備で、線形が悪く、円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	総合評価

位置図		写真	
平面図		標準横断面	
事業概要説明図表	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、地区住民の重要な生活道路であり、須坂市の重要な観光道路である。しかしながら、当事業予定箇所は歩道が無く、自動車の通行の際も視距が悪く、安全な交通が確保されない。市及び地区からも、安全な交通を確保してもらいたいと強い要望が挙げられている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H28.4 仁礼地区及び H28.7須坂市から要望がある。	
	③事業説明等の経緯	H28.11 事業目的については地区も了解している。事業を実施したい旨を、市を通じ地区役員へ周知。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	・観光圏整備実施計画地域指定(H24)	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・環境変化に配慮し掘削範囲を最小限に抑える。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	・菅平や須坂市の臥竜公園、蔵の街並みへ通じる道路であるため、観光地間の連携を高める効果の向上や歩行者の安全性の向上に繋がる。	
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 36' 00" 東経:E 138° 20' 12"